



第194回水道 GLP 認定委員会（5月14日）

水道 GLP 認定について審議した結果、堺市上下水道局（JWWA-GLP032）、群馬県企業局（JWWA-GLP076）、盛岡市上下水道局（JWWA-GLP078）及び尼崎市公営企業局（JWWA-GLP124）の認定更新を決定した。

また、一般財団法人中部公衆医学研究所（JWWA-GLP100）及び一般社団法人香川県薬剤師会（JWWA-GLP151）の認定維持を決定した。

水道 GLP 認定証授与式（5月15日）

水道 GLP 認定委員会で新規認定が決定した大分市上下水道局（認定番号：JWWA-GLP153）の水質検査機関の認定証授与式を日本水道協会理事長室において行った。



第39回広報専門委員会（5月15日）

はじめに、審議事項1「令和6年度広報専門委員会の活動について」を事務局より上程し、令和6年度の年間スケジュールと活動内容についての説明を行って承された。

次に、審議事項2「人材確保に向けた水道界の魅力向上に繋がる広報手法の検討に関する調査について」を事務局より上程し、調査の方法や内容について説明を行い、委員会以降、事務局にて委員の意見等を反映させたうえで、調査を実施することで了承された。

さらに、「人材確保及び水道界の魅力向上に繋がる広報の現状」に関して、各委員都市における状況や取組み等について、それぞれ意見交換を行った。

最後に、事務局から、令和6年能登半島地震における日本水道協会の対応、情報発信スキルアップセミナー実施報告及び第72回利根川水系連合・総合水防演習について報告を行った。



第139回人材マネジメント専門委員会（5月16日）

はじめに、審議事項①として「委員長・副委員長の互選について」を上程し、委員長には、これまで副委員長であった横浜市水道局総務部人事課長の瓜本委員を、このことにより空席となった副委員長には、広島市水道局人事課長の岩本委員をそれぞれ選任した。



次に、審議事項②として「令和6年度人材マネジメント専門委員会の活動について」を上程し、事務局より、昨年度の本委員会後の動きについて、名称変更・運営方法の報告とそれを踏まえた今年度のスケジュールについて説明した。

そして、審議事項③として「人材確保・育成に関する調査審議について」を上程し、事務局より、前回の本委員会において調査審議の方法等を決定したものを受けて作成したアンケート(案)について説明した。

次に、委員各都市の「人材確保・人材育成」の状況について、意見交換を行った。

最後に、事務局より、①令和6年能登半島地震における日本水道協会の対応、②情報発信スキルアップセミナーについて、それぞれ報告した。

第150回事務常設調査委員会（5月20日）

はじめに、審議事項①「正副委員長の互選について」を上程し、委員長には福岡市水道局総務部長の伊賀上委員を、副委員長には東京都水道局総務部長の長嶺委員、広島市水道局次長の榊原委員を選任した。



次に、審議事項②「年間スケジュール案について」を審議し、令和6年度の事務常設調査委員会及び各専門委員会の年間スケジュール案が了承された。

また、審議事項③「水道料金制度に関する検討について」を審議し、水道料金制度（水道料金算定要領）の検証及び改定を本委員会での調査審議事項とするとともに、経営調査専門委員会へ付託することが決定された。続いて、各都市の水道料金制度の現状と課題について、意見交換を行った。

さらに、審議事項④「社会資本整備重点計画等に関する要望・調整について」を審議し、「水道行政の移管に向けた検討委員会」から本委員会に引き継がれた事項の検討を行った。「社会資本整備重点計画に関する要望」及び「水道災害復旧事業における漏水調査及び給水

装置の取扱いに関する要望」について、要望文案が了承されるとともに、10月の日本水道協会総会の会員提出問題へ追加することが了承された。

その他に、報告事項①「令和6年能登半島地震における日本水道協会の対応」、報告事項②「情報発信スキルアップセミナーの実施報告」について、事務局から報告を行った。

水道基礎講座（東京会場第1回：5月29日～5月31日、東京会場第2回：6月5日～7日）

水道業務に従事する新規採用職員（事務系・技術系）の方々189名（東京会場第1回95名、東京会場第2回94名）の参加を得て、「水道概論」、「水道経営」、「水道システム概論」について研修を実施した。

浄水場等設備技術実務研修会（東京会場第1回：6月4日～7日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々13名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実習するとともに、設備機器の保守・管理の実務について研修を実施した。

令和6年度第1回理事会（6月5日）

青木理事長が議長となり、報告事項1「公益社団法人日本水道協会の会務」について報告した。

続いて、議案の審議に入り、第1号議案「令和5年度公益社団法人日本水道協会会計決算について」、第2号議案「公益社団法人日本水道協会役員報酬の改定について」、第3号議案「会員の入会について」が上程され、審議の結果、それぞれ原案のとおり決定した。



令和6年度第1回運営会議（6月5日）

青木理事長が議長となり、報告事項1「令和6年能登半島地震における日本水道協会の対応」、報告事項2「災害時における水道コンサルタントの情報提供における協定の締結」、報告事項3「応急給水活動に係る水道保険制度の創設」、報告事項4「東日本大震災被災地への復興支援」報告事項5「水道行政の国土交通省及び環境省への移管に関する対応（報告）」、報告事項6「情報発信スキルアップセミナー実施報告」、報告事項7「第66回水道週間」、報告事項8「第72回利根川水系連合・総合水防演習」、報告事項9「令和6年度水道イノベーション賞」について、それぞれ事務局から報告があった。



続いて議案「令和7年度水道関係予算の要望について」が上程され、審議の結果、原案のとおり決定した。

会議終了後、議案の決議に基づき、出席委員により関係国会議員並びに国土交通省、環境省及び総務省に対し陳情を行った。



自由民主党国土・建設関係団体委員会委員長
小林衆議院議員



自由民主党国土・建設関係団体委員会副委員長
泉田衆議院議員



公明党上水道・簡易水道整備促進議員懇話会
幹事長 横山参議院議員



国土交通省への陳情



環境省への陳情

漏水防止講座（東京会場第1回：6月5日～7日）

漏水防止業務に従事する技術系職員の方々54名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターにおいて研修会を実施した。第1日目及び第2日目に「漏水防止概論」、「漏水防止の現状と課題」、「漏水防止作業」、「漏水探知技術」、「漏水機器の取り扱い」について講義を行い、最終日には、漏水防止関連機器を使っての実地研修を行った。

第166回水道事業管理者協議会（6月6日）

はじめに、近畿大学経営学部 浦上教授より「水道クライシスについて」をテーマに講演を行った。

次に、メンバー都市等から提案された情報交換事項「①災害拠点病院の指定要件の見直しに伴う、災害拠点病院との優先的な給水協定の締結状況等について」、「②水道料金の支払いにおける電子決済の導入状況について」、「③水道料金制度について」の3題、それぞれ情報交換を行った。

最後に、①令和6年能登半島地震における日本水道協会の対応、②情報発信スキルアップセミナーの報告について事務局から報告があった。



第198回水道統計編纂専門委員会（6月6日）

はじめに、議題1「正副委員長互選について」を上程し、委員長に安田千葉県企業局水道部水質センター調査課長、副委員長に吉井東京都水道局総務部企画調整課統括課長代理（企画調整担当）が選任された。

続いて、議題2「水道統計の経年分析（令和4年度）について」を上程し、令和4年度水道統計経年分析の執筆分担等について、事務局より説明を行い了承された。

